

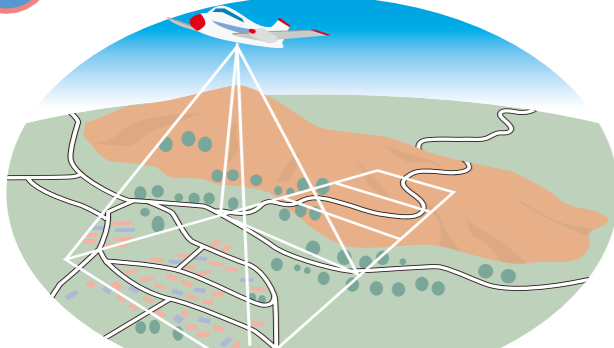
地図は次のような順序で作られ、私たちの身近なところで使われています。

1 位置を決める (基準点測量)



測量で位置や高さを求めます。

2 空中写真を撮影する



地図を作るとき空中写真を撮影します。

3 空中写真などから地図を描く (図化・編集)



撮影した空中写真などをもとに地図を描きます。

いろいろな方法で地図を提供します。



印刷図
インターネットで公開
スマホなどの地図の元データ

紙などに描かれた地図にかわって、最近では、スマホやカーナビのようにコンピュータで地図を使うことが多くなりました。GPS 機能を使って現在地を地図の上に表示させたり、インターネットとつなげて周辺のお店の情報を調べたり、とても便利な使い方ができるようになりました。コンピュータで表示した地図に、さまざまな統計資料や台帳データを重ね合わせて、ハザードマップの作成や都市計画をたてたり、商店の売り上げの分析などに活用する GIS (地理情報システム) も身近なものになってきました。



【スマホやカーナビで地図をつかう】



【GIS (地理情報システム)】

■ 「くにかぜ」のしごと

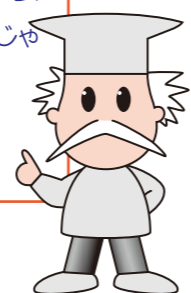
「くにかぜ」は国土地理院の測量用航空機で、現在は「くにかぜⅢ」が活躍しています。

地図をつくるために必要な空中写真を撮影したり、地震や大雨などの災害のときの緊急撮影などを行います。



隣同士の写真が重なり合うように撮影するんじや

この写真をつかって地表を立体的に見ながら地図を描くのじや

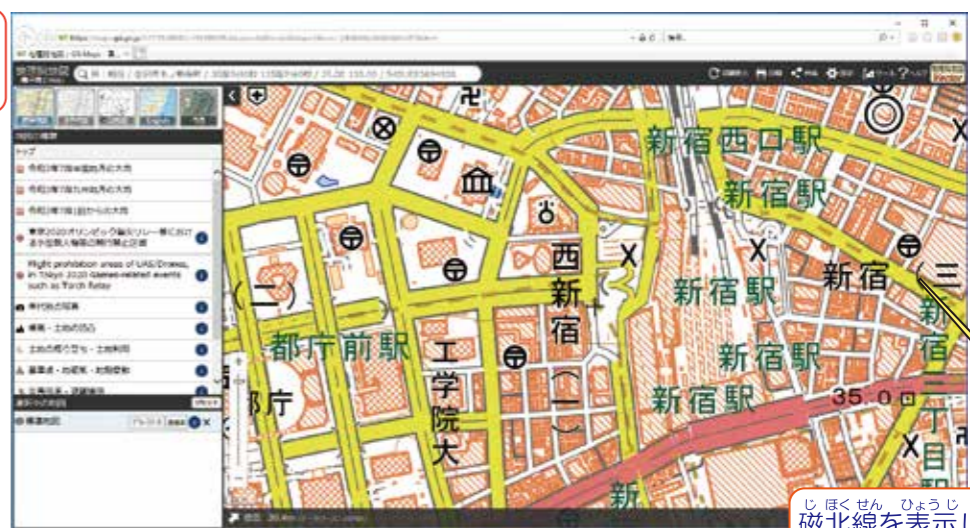


国土地理院のウェブ地図「地理院地図」を使ってみよう

地図や空中写真をWeb 画面の上で見たり、使ったりすることができる「地理院地図」が、スマホやタブレットからも利用できます。

見たい情報を
選ぶことができるよ

中心付近の住所や
標高などを
表示しているよ



<https://maps.gsi.go.jp/>

磁北線を表示したり、
地図に書き込んだりする
いろいろなツールがあるのじや



※「くにかぜⅢ」には、カメラのほかに撮影地点を記録するためのGNSS 受信機や航空機の傾きや加速度を測る慣性計測装置 (IMU) という機器も積んでいます。

※磁北線とは、方位磁石がさす北の方向を地図上に表示したものです。